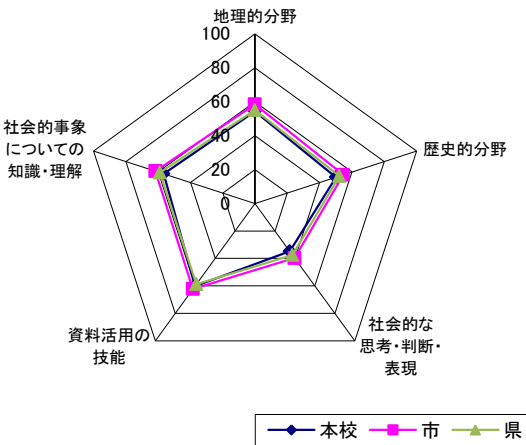


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	地理的分野	54.3	58.4	55.0
	歴史的分野	50.0	54.6	52.2
観点	社会的な思考・判断・表現	34.9	39.8	37.5
	資料活用 の技能	60.1	62.3	58.7
	社会的な事象についての知識・理解	56.6	61.7	59.0
観点	総合（教科全体）	52.1	56.4	53.5
	基礎（基礎・基本）	60.1	64.2	61.1
	活用（思考・判断・表現）	35.2	40.0	37.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○地図の読み取りに関しては、栃木県の平均を2～3ポイント上回っており、良好であると言える。また、分布図の読み取りも概ね良好である。 ●複数の資料を組み合わせる読み取り回答する問題や、自身で考察し説明する問題においては、正答率が栃木県の平均を5ポイント前後下回り、また無回答の生徒が平均より多かった。	・授業において、資料を考察する学習を通して、自身の言葉で発言させたり、記述させたりする機会を増やしていく必要があると考える。
歴史的分野	○中世の土地制度に関する理解は、栃木県の平均を8ポイント上回っており、良好である。また、事項の順番を入れ替えて、古い順にするなどの難問の正答率も高い。 ●御成敗式目・勘合貿易や政治の中心人物など基礎的な社会用語(事項・人名)が定着されていない。	・歴史授業の最初(最後)に、基礎的な社会用語の1問1答や穴埋めの小テストを実施するなど、復習する機会を意図的に設ける必要があると考える。